

第1184号

AFN-1184

# Timely

1994年1月17日創刊 毎週発行  
葵総合経営センターだより週刊版

H29. 9 / 11 (月)

## 『e-TAX活用状況 法人税申告79%超に』

平成26年9月に決定された「財務省改善取組計画」では、複数の評価指標で28年度までに達成すべき目標を設定しており、今般、28年度の実績値が公表された。

【オンライン利用率】公的個人認証の普及割合等に左右される国税申告2手続は54%（目標：58%）であった。うち所得税申告は53.5%、消費税申告（個人）は63.2%。上記以外の国税申告4手続は78.0%（目標：72%）。うち法人税申告79.3%、消費税申告（法人）77.3%、酒税申告82.0%、印紙税申告60.5%であった。

【ICT活用率】インターネット環境を利用して申告書を作成した割合は76.8%（目標：72%、同3.1ポイント増）。うち所得税申告では77.0%、消費税申告（個人）では73.2%となった。



【利用満足度】e-Taxの利用満足度は73.4%（目標：75%、同0.6ポイント減）、国税庁HP「確定申告書作成コーナー」の利用満足度は87.9%（目標：85%、同2.8ポイント増）であった。

【その他】オンライン申請の1件当たりの費用、国税申告手続の事務処理時間はいずれも前年度からの減少が目標で、それぞれ306円（同48円減）、869,000時間（同19,000時間減）となった。



## 『売上DI、マイナス幅やや拡大 採算DIは横ばい—小企業決算』

日本政策金融公庫が行った2016年度全国小企業の決算状況調査によると、同年度決算（16年12月～17年3月を期末とする決算）は、前年度と比べて売上げが「増加」した企業の割合が27.2%、「減少」した企業の割合が46.5%だった。売上げDIは前年度に比べてマイナス幅が3.5ポイント拡大しマイナス19.3となった。14年4月の消費税率引き上げ後の停滞から立ち直りつつあったが、熊本地震や大型台風、自動車メーカーの燃費不正問題などの影響を受けてやや低下した。

売上げDIを業種別にみると、製造業が9.9ポイント、非製造業が2.6ポイント、それぞれ低下。非製造業の中では建設業がプラス水準となった。

「黒字」企業の割合は39.1%で、「赤字」企業の31.1%を上回った。黒字企業の割合が赤字企業の割合を上回るのは4年連続。採算DIは前年度からほぼ横ばいの8.0。採算DIを業種別にみると、製造業が1.9ポイント上昇した一方、非製造業が0.5ポイント低下した。小売業を除くすべての業種でプラス水準となった。増収増益企業の割合は前年度から0.9ポイント低下し11.8%。減収減益企業の割合は前年度から0.6ポイント上昇し27.1%となった。いずれも横ばい圏内だった。

出典元：日本中小企業経営支援専門家協会(JPBM) ※本記事・内容の無断転載を禁じます

21世紀を創造する中小企業のベストパートナー  
**葵総合経営センター**

〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目14番22号  
(葵総合税理士法人)

TEL : (052) 331-1768 FAX : (052) 332-5282

『Homepage』 <http://www.aoi-cms.com/> 『e-mail』 [aoi@aoi-cms.com](mailto:aoi@aoi-cms.com)